

**NucleoSeeing®**

**細胞核ライブイメージング試薬**

DNA に特異的に結合し、緑色蛍光を発する生細胞用の核染色試薬です。

動物細胞・組織のみならず、シロイヌナズナの葉細胞においても高い S/N 比が得られ、生細胞における核動態観察に優れています。また、細胞核特異的な pH センシングにも応用可能です。

**特長**

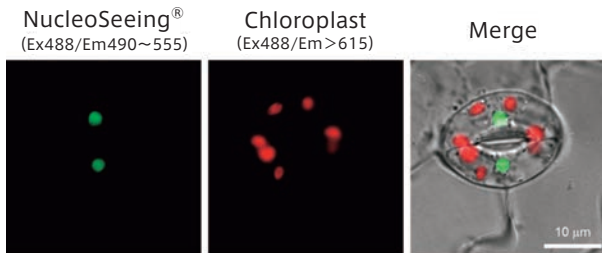
- 従来の核染色試薬と比べて、細胞毒性が低い試薬です。
- 培地交換をしなくても高感度イメージングが可能で、20 時間程度の長時間イメージングができます。

Web に動画あり 長時間のイメージングを記録したタイムラプス動画があります。

- FBS を含む条件でも良好に染色できます。
- 染色後に培地交換を行うことで 12~24 時間程度で除去されます。
- 生細胞、固定細胞の両方に使用できます。
- 実績のある細胞：動物由来培養細胞・組織、植物細胞（シロイヌナズナ葉細胞）
- 励起/蛍光：488 nm / 520 nm

**使用例**

シロイヌナズナの葉の孔辺細胞の染色例



葉緑体由来の自家蛍光と切り分けて核を染色できた。

**User's Voice**

緑藻植物アオサ藻の一種である巨大単細胞生物カサノリでも細胞核や配偶子核がきれいに染まりました。

大学ご所属のユーザー様



品名	メーカー 商品コード	包装 / 価格 (¥)
NucleoSeeing® (Live Nucleus Green)	FNA FDV-0029	0.1 mg / 38,000

**GolgiSeeing**

**ゴルジ体ライブイメージング試薬**

40% OFF キャンペーン

培地に添加するだけで生細胞のゴルジ体をわずか 10 分で染色できる蛍光色素です。

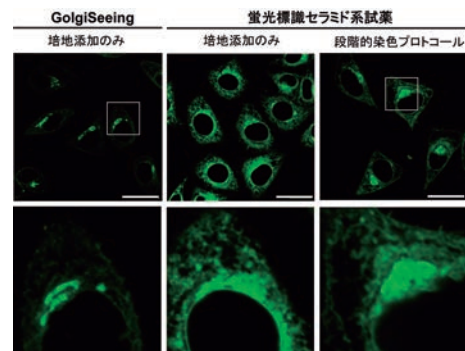
遺伝子操作は不要なため、より生理的な条件下でゴルジ体の動的挙動が観察できます。

※本製品は名古屋工業大学の研究成果をもとに、フナコシ(株)が製品化し、販売しています。

原著論文 : Sawada, S., et al., ACS Chem. Biol., 18 (5), 1047~1053 (2023). [PMID : 37098188]

**特長**

- 励起/蛍光：480 nm / 520 nm
- 非洗浄条件下では長時間観察が可能ですが、ゴルジ体だけでなく細胞膜も染色されます。この特性を利用して、細胞形態とゴルジ体の動的挙動の同時観察に応用できます。
- ※固定細胞での使用、生細胞染色後の固定には適していません。



**GolgiSeeing とセラムド系ゴルジ体染色試薬の比較**

HeLa 細胞を GolgiSeeing および従来の蛍光標識セラムド系試薬 (BSA 複合体) で染色した。GolgiSeeing は、培地に添加し 10 分間インキュベート後、培地交換のみでゴルジ体選択的な染色が見られた。一方、蛍光標識セラムド系試薬では、培地に添加しただけでは ER との境目が不十分であり、推奨される段階的染色プロトコル (1 時間程度) を実施するとゴルジ体への選択性は向上するものの、依然として ER の非特異的染色も観察された。

品名	通常	キャンペーン
メーカー 商品コード	包装 / 価格 (¥)	価格 (¥)
GolgiSeeing (Golgi Apparatus Green)		
FNA FDV-0053	0.1 mg / 45,000	27,000

※キャンペーン期間：2024年10月1日～2024年11月29日

フナコシブランドキャンペーン 第三弾

**オルガネラ/糖鎖修飾研究  
関連製品**

40% OFF

キャンペーン期間：2024年10月1日～2024年11月29日

キャンペーンの詳細はこちら

70404

